

想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。

第1水候のみならず  
本日は 春に おつくり  
して。 春の 美しい 景色  
を 感じ ながら 歌う。 春の 美しい 景色  
を 感じ ながら 歌う。 春の 美しい 景色  
を 感じ ながら 歌う。

		学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 前時を振り返って、1, 2番を歌う。</p> <p>② 「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。</p> <p>◇ 1番の歌詞と比べて、悲しい言葉を使っている。</p>	<p>○ 前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようにする。</p>
		<p>③ 生徒の言葉で課題を設定する。</p>	<p>(「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○ 1, 2番の歌詞と対比して、3番の歌詞の特徴を捉えられるようにする。</p>
		<p><b>【学習課題】</b> 3番の歌詞に合う表現をするためには、1, 2番と対比させどのような工夫をして歌えばよいだろう。(強弱、音色)</p>	
開	10分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 3番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。</p> <p>② 個人で、強弱などの表現の工夫について考える。</p> <p>◇ 「春の 夕暮れ」は、夕暮れの雰囲気を出したかったので、ふんわりと「ひとり 寂しく」のmpで語る。</p>	<p>○ 前時までのワークシート等を振り返り、3番の歌詞に込められた思いを感じながら、まず自分の考えを持てるようにする。</p>
		<p>③ 班で意見交換をする。</p> <p>④ 班で歌いながら、ふさわしい音楽表現を練習する。</p> <p>◇ 「ひとり 寂しく」は、言外に寂しい様子が伝わるように歌う。</p>	<p><b>【具体的評価規準】 思①</b></p> <p>自分の内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。</p> <p>方法：ワークシートの記述)</p> <p>達成していない生徒(グループ)への手立て)</p> <p>3番の雰囲気について対話しながら、歌詞や曲想を生かした工夫ができるようなヒントを与える。</p>
		<p><b>【期待される学びの姿】</b></p> <p>感じ取った曲想や音楽の内容との関わりなどを基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。</p>	
終末	10分	<p>⑤ 発表しながら意見を広める。</p> <p>1, 2番との対比についても、発表の中から適宜行う。</p>	<p><b>【到達していない生徒(グループ)への手立て】</b></p> <p>○ 強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めることができるようにする。</p>
		<p>3 まとめる。</p>	<p>○ 生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p>
		<p><b>【まとめ】</b> 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱 )を工夫する など。</p>	
終末	10分	<p>4 学習したことを振り返る。</p> <p>・ 1番から3番まで歌う。</p>	<p>○ 生徒の歌を聴いて、最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。</p>
		<p><b>【まとめ】</b> 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱 )を工夫する など。</p>	

めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。

**【学習課題】** 3番の歌詞に合う表現をするためには、1, 2番と対比させどのような工夫をして歌えばよいだろう。(強弱、音色)

**【具体的評価規準】 思①**  
自分の内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。  
方法：ワークシートの記述)

達成していない生徒(グループ)への手立て)  
3番の雰囲気について対話しながら、歌詞や曲想を生かした工夫ができるようなヒントを与える。

**【期待される学びの姿】**  
感じ取った曲想や音楽の内容との関わりなどを基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。

**【到達していない生徒(グループ)への手立て】**  
○ 強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めることができるようにする。

**【まとめ】** 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱 )を工夫する など。

各自の楽譜に自分の考えを記入して、班で意見交換をさせている。

少人数の班で意見交換(1人1人聴きながら)して、3番の雰囲気を出したいので、ふんわりと「ひとり 寂しく」のmpで語る。

この曲の雰囲気を基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。

表現の工夫をグループで話し合っている。自然に歌い出すように工夫している。

先生の伴奏に合わせて、1番から3番まで歌う。

最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。

自分の意見や思いをワークシートに記入している。